

港区教育史編さん基本方針

港区教育委員会は、平成29年3月15日に区政70周年を迎えるのを機に、昭和62年の「港区教育史」(上・下巻)、平成9年の「港区教育史」(資料編1、2)の刊行から経過した港区教育史を、以下の方針に基づき新たに編さんします。

1 基本方針

- (1) 江戸時代後期から始まる「寺子屋」以降、この港区の地における150年を超える教育の歩みを体系的に記録し、後世に語り継いでいける教育史とします。
- (2) 歴史的事実、学術的研究を基に、教育史の編さんを行います。
- (3) 図表や写真等を多く用い、分かりやすく親しみやすい、区民が身近に感じられる教育史とします。
- (4) 区民との協働で編さんを行うことにより、愛着が持てる教育史とします。
- (5) ICT(情報通信技術)を活用することにより、国内外に広く港区の魅力を発信します。
- (6) 収集した資料及び今後新たな研究・検証に基づく資料は継続的に収集を行い、管理・保管して後世に残すとともに、定期的に検証します。
- (7) 子どもや保護者、地域の方々の視点で「くらしと教育編(仮称)」を新たに編さんし、広く区民に手に取ってもらうためのわかりやすい教育史とします。

2 編さん期間

平成28年度から平成34年度まで

3 公開・刊行年月

平成32年3月予定 資料でみる普及版

平成33年3月予定 港区教育史 通史編・資料編

平成35年3月予定 港区教育史 くらしと教育編

4 成果物

- (1) 港区教育史 (WEB版・書籍版)
 - ①通史編
 - ②資料編
 - ③くらしと教育編
- (2) 資料でみる普及版 (WEB版)